

今日の主な内容

- 2面 パレスチナ人民の拳族的決起に連帯を
- 3面 「新しい戦前」にさせないために
- 4面 重信房子さんは訴える
- 5面 『ウクライナ・ダイアリー』古川英治
- 6面 長期連載 先人たちの闘いに学びかそう
- 7面 『マイナ保険証の罠』荻原博子
- 8面 使用済み核燃料の行き場はないぞ！

未来

THE FUTURE

反帝国主義・反スターリン主義 万国の労働者と被抑圧民族は団結せよ！

●発行所 前進社関西支社
〒532-0002
大阪市淀川区東三国6-23-16
(振替 00970・9・151298)

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

革命的共産主義者同盟再建協議会 <http://miraikakukyodo.jp/>

パレスチナ人民の拳族的決起に連帯を 抑圧と分断の世紀を断とう

パレスチナ人民の歴史的蜂起が始まった。10月7日早朝、ガザから2300発のロケット弾がイスラエルの占領地に向けて発射された。それと同時に高さ10メートルに及ぶ分離壁を爆破し、トラックに乗り、または徒歩で千人を超えるパレスチナ戦士が進攻した。壁を重機で押し倒したり、「鷹飛行隊」と名づけたパラグライダーでイスラエル側に降下した部隊もいる。抑圧と分断を打ち破る歴史的戦いが始まった。

勝利性と全民族性

多くを撃ち漏らした。エルドランの諜報機関は、数年間をかけて準備を凝らしたパレスチナ人民と呼ぶこの戦闘には、パレスチナの全民族が決起した。地域・政治党派・宗教的信条・年齢・性別を超えて文字通り全民族こぞっての決起であった。政治・軍事組織をとっても、ハマス(イスラム抵抗運動)の軍事組織、アル・カタッブ旅団、ファタハ(パレスチナ民族解放運動)の軍事組織、アル・アクサー旅団、PFLP(パレスチナ解放民族戦線)の軍事組織、アフ・アリ・ムスタファ旅団、パレスチナ・イスラミック・シハード(イスラム聖



使用済み核燃料の行き場はないぞ 500人がデモ (10月22日 大阪市/記事8面)



ガザ無差別攻撃をやめよ 米領事館に抗議申し入れ (10月19日 大阪・米領事館前)

ガザ無差別攻撃をやめよ 米領事館に抗議申し入れ

10月19日、「ガザ無差別攻撃中止要請、米領事館申し入れ行動」がおこなわれ、200人の人々が集まった。呼びかけは、BDS(ボイコット・資本引き上げ・制裁)関西など約20団体。米がイスラエルを全面支援

イスラエルは無差別攻撃をやめよ。市内のアハリー・アラブ病院が空爆され、数百人の患者、医療関係者が避難民が殺傷されるも、米領事館側は罪を包囲し、兵糧攻めを包囲し、誰ひとり出さないという開き直った対応。ガザを直接攻撃しているのはイスラエル軍であるが、その兵器の多くは米国が供給したものであり、歴史的にイスラエルによる虐殺行状に積極的な政治的支持を与え、国連理事国として、無差別爆撃を開始した。17日にはガザ

岸田政権参院補選で惨敗 物価高増税で支持率急落の岸田倒せ 10・22 四国

最大の最強の民兵組織「ハマス」がシリアとスリランカという宗派を超えて支持している。日本のメディアは悪質にも、ハマスだけの作戦であるかのように描いて、「テロ集団」として孤立させようとしているが、パレスチナ人民はそれを拒否している。なによりも、ハマスと対立を繰り返していたハマスとファタハが共闘している。国際的には、イランとイラクのシリア派政権が今回の蜂起を支持している。さらに、レバノンのヒズボラとイエメンのフーシという中東

最大・最強の民兵組織「ハマス」がシリアとスリランカという宗派を超えて支持している。ユダヤ教の休日には音楽祭をやっていたキブツ(農業共同体)を襲撃されたことわめくメデアはなんと無知か。イスラエルのキブツは社会主義的共同体ではない。パレスチナ人民から取り上げた土地を武力で囲い込んでいる。イスラエルは、徒手空拳で抗議したばかりのパレスチナ人、それも多し。青少年6千人を拘束し続けている。これは「国家的人質作戦」ではないのか。これに抗議せずに、ハマスを断罪することなど許さ

ガザはパレスチナの南西の端、エジプトとの国境で地中海に面した細長い地域で、面積は360×370キロ、東京23区(面積622キロ平米)の6割、京都市の面積の44%しかない。人口は220万人、世界1人口密度が高い地域とされる。もともとの人口は50万人程度で、164万人は、今はイスラエルとなっているパレスチナの別の場所

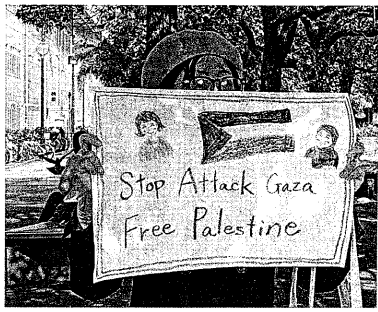
ガザの運命を全世界は共有する

イスラエルはガザへの侵攻をやめろ！

私たちは見捨ててきた： 大石あきこ衆院議員

イスラエルによるガザ地上侵攻がますます激しくなっています。今、世界中でガザに侵攻をやめろという声が上がっています。

大石あきこ衆院議員



訴える大石あきこ衆院議員 (10月15日)

れいわが声明

れいわ新選組本部は10月14日夜、「イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への無差別空爆と地上侵攻は許されぬ」という声明を発表した。

大石あきこ衆院議員は訴える

イスラエルによる無差別空爆がおこなわれ、イスラエルがまもなくガザに地上侵攻しようとしています。これは虐殺です。国際法や人道に反していると



訴える大石あきこ衆院議員 (10月15日)

しかし、私たちも含めて世界の国々はパレスチナを見捨ててきたのです。その結果として、今があるのだと手書きのメッセージを、人々に本心に申すように状況を訴えたい。友人や知人にこんなことが起きていくらぬように声をあげたい。自分はおかしいと思っているのか、一緒にガザ侵攻をやめろというアクションを起こしていきましよう。

緊急の呼びかけでしたが、たくさん集まっていた。私達はパレスチナの人たちに届くように、一人でも何か行動をおこさなければならぬと思いました。

私達はパレスチナの人々に、食糧も、水も、電気が届かなくなっている。無力感を感じていますが、うちひしがれて、一人でも何か行動をおこさなければならぬと思いました。

ガザの人口の平均年齢は18歳です。子どもたちが子どもたちを殺すという行為は、パレスチナでおこなわれてきたこと

イスラエルは国際法に反して何十年も、パレスチナの人々の土地を奪い、家を壊し、抵抗すると殺すという行為をパレスチナ全土で残酷におこなっているのです。

見捨ててきた私たち (三船一郎)

(前略)

3、「アルアクサ洪水作戦」は、なぜ起きたのか？ 今、パレスチナでは大規模な戦争が起こっています。攻撃を開始したハマスは、「アルアクサ洪水作戦」と呼んでいます。日本ではハマスの攻撃と言いますが、ガザの解放勢力が一致団結してこの作戦に参加しています。ハマスのアル・カッサム旅団、ファタハのマルワン・バルグデーを指導者と仰ぐアル

①去年12月末にネタニヤフ政権が成立し、これまで以上に極端なパレスチナ人への民族浄化が進みました。「イスラエルの歴史上最も過激な人種差別主義の右派政権」と西側報道が報じているほどの政権です。ネタニヤフは汚職で起訴されており、有罪になっても首相の免責特権を持てるように右派の要求を受け入れ、司法改革を目指しています。

②この政権の特徴は、国際法も国連決議も無視して「占領地」と「イスラエル」という区分けを取っ払い全部イスラエルの領土としてパレスチナ人への侵略と弾圧を進めていることです。

③「ユダヤの力」党首ベンクピールを、新設された国家安全保障相に抜擢し、イスラエル国内ばかりか、これまで国防省が管轄してきた占領下の西岸地区や東エルサレムの治安維持を含めて、ベンクピールに全土一括統制下に置く権限を与えました。就任直後からイスラエルの聖地への挑発、扇動で入植者と軍の一体となったパレスチナ人弾圧が続きま

重信房子さん (京都にて)

④占領地併合を主張してきた「宗教シオニズム」のストリッチは、財務相と、占領下パレスチナ人の出入国をも含む社会生活を統制する民生局をも管理する大臣を兼務することになりました。入植地の拡大併合、自治政府に代わって占領下パレスチナ人の税の代

⑤ネタニヤフ政権は司法改革に対するイスラエル国民の激しい反対にも直面し、その批判をかわすべくパレスチナ人への弾圧が益々激しく続きました。この間だけでも、7月に

はジェニンでの難民キャンプへの大規模攻撃が反響されてアパッチヘリを投入して殺戮を繰り返したり、入植者が何百人も押し寄せて村ごと破壊しようとしたり、パレスチナ人の集合住宅を違法だと難癖をつけて爆破したりと激しい民族浄化

260人が殺されています。ネタニヤフは9月国連総会で「新しい中東」として地図を掲げて勝利宣言のように演説しました。この地図は、パレスチナ人、アラブ人を蔑視し、その結果、ハイテクと最強

場に替えようとして来

一致団結したイスラエルへの抵抗 重信房子さんは訴える (上)

(10月15日 京都集会での発言 抜粋)

ました。ストリッチは4月、欧州で公然と「パレスチナ人など存在しない。パレスチナ人の言語、通貨、歴史や文化もない。何もな国がアラブヒム合意をい」と断っていました。こうした大臣たちが入植者を鼓舞して挑発扇動を繰り返してきまし

た。その結果、激しい民族浄化、人種差別の弾圧挑発殺害が日々深刻化していました。

⑤ネタニヤフ政権は司法改革に対するイスラエル国民の激しい反対にも直面し、その批判をかわすべくパレスチナ人への弾圧が益々激しく続きました。この間だけでも、7月に

はジェニンでの難民キャンプへの大規模攻撃が反響されてアパッチヘリを投入して殺戮を繰り返したり、入植者が何百人も押し寄せて村ごと破壊しようとしたり、パレスチナ人の集合住宅を違法だと難癖をつけて爆破したりと激しい民族浄化

260人が殺されています。ネタニヤフは9月国連総会で「新しい中東」として地図を掲げて勝利宣言のように演説しました。この地図は、パレスチナ人、アラブ人を蔑視し、その結果、ハイテクと最強

(つづく)

兵庫訴訟第3次提訴 口頭弁論

「優生保護法作った国許せぬ」

旧優生保護法(以下11日)での川野さんの旧法、1948〜96意見陳述に続いて、ほぼ満杯の傍聴席を背に法廷に立った。

高尾辰夫さん(不妊手術)・奈美恵さん(不妊手術)・小川喜美子さん(不妊・中絶手術)・三浦さん夫妻の計4人、後もそれを夫に話すことのできず、2人目がほしいと強く願っていた夫は私が妊娠しないので諦めた。もし手術されなければ私たちに3人くらい子どもがいて、楽しく暮らしていたはずだ、そして最後に身体を震わせ、傷つけられたのは身体だけではない。子どもを産んではいけないうる、存在すべきではない者、存在するべきではない者という烙印を押されたのだ」との意見を述べた。

原告の1人は神戸市の川野正子さん(仮名、60代)。幼少時、はしかによる高熱で難聴となり、20代だった90年、帝王切開で第2子を出産した際に不妊手術を受けさせられた。もう1人は県内に住む山川百恵さん(仮名、60代)。生まれながら聴覚障がいがあり、20代だった81年に帝王切開で第1子を産んだ際、不妊手術を強いられた。お二人とも手術の説明は何らされなかった。

この日、山川さんは第1回口頭弁論(7月

し、不当にも3・23大阪高裁判決について上告、上記3地裁判決に對し控訴した。

また、仙台高裁は6月1日、こうした国の反動的動きに呼応するかのよう、22年2月の大阪高裁判決とそれ以降の各地における「除斥期間」制限判断の体験と出来事に即して今も何ひとつ変わらぬ障害者差別の実態を暴き、そうした現実を許してしまっている私たち一人ひとりの気づきと決起を強く促した。

お2人の第3次提訴の決断は、全国各地の国賠訴訟運動と固く結び合いつつ国と反動的な逆転をねらう動きに、たまたかの新たな発展を開く可能性を秘めたものだ。今こそ原告の方々の不屈のたたかいに学び連帯し、勝利に向かってともに前進しよう。

第1〜2次の5原告による兵庫訴訟の控訴審は本年3月23日、大阪高裁による国賠命令の画期的判決(※)で歴史的勝訴をかちとり、その後の静岡・熊本・仙台の3地裁における「除斥期間」制限判決による連続的勝訴の流れをつくった。

逆転はね返し、国賠訴訟運動発展ひらく大きな一歩

お2人による第3次提訴は、聴覚障がいの高尾・小川さん両夫妻、脳性まひの鈴木由美さんら先人たちの不屈の

国は、この流れに對

著者は元日経新聞 Moskワ特派員だったジャーナリスト。2022年2月24日、ロシアがウクライナに侵略を始めた時、キエフに陣取っていた。連日、義母はキエフのドニエプル川東岸に住んでいる。

人びとは、この戦争をどのように受け止めたのだろうか。本書を読めば、ウクライナの人々の思いがよく伝わってくる。

プーチン演説

プーチンは、「ウクライナ政権によるジェノサイドにさらされていく人びとを保護するために、ウクライナの非軍事化と非ナチ化をめぐり」と言い、これを「特別軍事作戦」と称した。今日、この言葉を正しと信じる者はいないだろう。

また、プーチンは22年2月21日の演説で、次のように述べている。「我々にとってウクライナは単なる隣国ではない。現在のウクライナはすべてロシアに属しているが、ロシア生まれで、ロシア語で執筆してきた。このウクライナ・ナショナリズムを理解するために、コサックの精神はもとより、ウクライナの現代史を理解しておく必要があるだろう。い

必要がある。い

②ソ連時代の記憶、③ソ連からの独立、④2004年「オレンジ革命」、2014年「 Maidan革命」など。

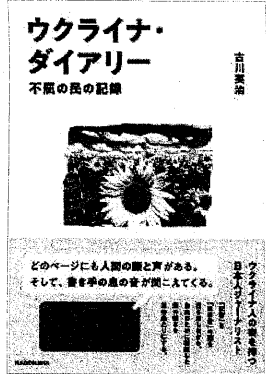
ウクライナの人びと

ロシア軍がキエフにせまってきているとき、著者と連れ合いの会話的印象だ。「日

ある青年は「これは2014年から続く独立を守る戦いだ。僕も祖国防衛のために準備したい」と語っている。このようなウクライナ人気質について、作家のクルコフは、ウクライナ人は「自由で、個人主義であり、権威を恐れない。歯向かい、自分が信じるもの

本でのごことだったら、あなたはもう逃げない」と答える。「あなたはそのようでしょうね。私は逃げない。軍事力で圧倒するロシアに、どこまで闘えば、①ロシア革命前後のこと、

あなたはどうするの



『ウクライナ・ダイアリー 不屈の民の記録』

古川英治・著 (KADOKAWA) 単行本 1760円

展望 -The Perspective- 最新号! 第30号

- * 巻頭アピール: 原発・沖縄・反増税の人民総反乱を
- * 11・23沖縄県民大会を歴史的転換点に
- * 今秋反原発闘争の課題
- * 放射能汚染水の海洋投棄弾劾
- * 強制不妊 仙台高裁控訴審で国賠請求を棄却
- * 小特集: ウクライナ反戦闘争

プーチンの2021年7月論文

(革命的共産主義者同盟再建協議会 理論機関誌)

2023年10月 定価(本体1000円+税) Amazonでも購入可 / 「展望30号」で検索

ウクライナは穀倉地帯だ。人びとは、小麦で作るパンを主食にしている。砲弾の音が聞こえるキエフの街で、ベーカリーは営業して

パンの記憶

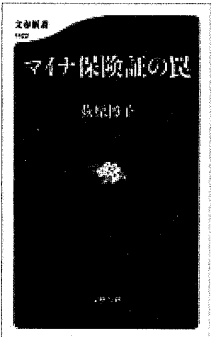
このように、ウクライナの人々は苦難の歴史を教訓にしながら、自由と主権を獲得するために侵略者と戦っている。本書は街の中の人々の声を拾いあげ、その声をリアルに伝える。

いる。店の女性は「こんな時こそ、おいしいパンをつくって、みんなに食べさせてあげたい。小麦粉がなくなるまで、私たちはパンを提供するわ」と語っている。

ウクライナの人々は、抵抗の意思表示なのだ。

大破綻のマイナンバーカード (上)

荻原博子著 『マイナ保険証の罫』 文春新書



最新の情報によれば、マイナンバーと医療保険情報が紐付けされていくケースが77万件あった。その場合、マイナンバーカードの利益を極限的に追求するマイナンバーカード制度が破綻を遂げつつある。本書は、その導入に際し、廃業する医療機関がすでに千件を超えたという。義務化されたマイナンバー

最新の情報によれば、マイナンバーカードを読み取るカードリダーを備える負担に耐えられないため、マイナンバーカードの利益を極限的に追求するマイナンバーカード制度が破綻を遂げつつある。本書は、その導入に際し、廃業する医療機関がすでに千件を超えたという。義務化されたマイナンバー

第1章 不具合・トラブルの山

著者は、マイナンバーの精度たるや、女性がバーコードを保険証として使う不具合とトラブルの山を指摘する。政府のウソは次の点で明らかになっている。政府は、「保険証を廃止しても問題はな

「他人が情報を見ることを防ぐ」と言っている。しかし、企業や行政のルートからデータ漏れの現状がある。マイナンバーカードで詳細な医療情報にアクセスできる「より良い医療ができる」という。しかし、カルテ

「カードを落とすとやぶくすり手帳より古い情報しか入手できない。しかし、写真を貼り換えても簡単に「なりすます」ことができる。政府のマイナンバーカード制度は次のよう

「顔認証でなりすましができない」と言っているが、その顔認証

マイナンバーカードを受け取らない人には保険証に替えて「資格確認書」を新たに発行することを目指していた。さらには年金口座を紐づけて、最終的にはすべての銀行口座の紐づけを狙っていた。

第2章 大欠陥の原因

問題の根本は、マイナンバーとマイナンバーカードを、政府の側が意識的に混同していることである。ないし混同するように導いていることである。

それは第1に、誤登録が頻発したことである。2023年8月現在、伝わっているだけで7300件以上に及ぶ。紙で提出されたものを手入力しているから生じる必然的ミスである。その意味で第1次安倍政権末期の2007年に5000万円の年金記録が消失した問題と類似している。

第2に、情報流出が繰り返されていることである。デジタル庁はセキュリティの総本山を自称している。しかし、2022年に、法人向けオンライン行政サービス「GピエスID」で2社262人の個人情報漏れを起こしている(前年には400人)。2023年6月

13日に、政府の個人情報保護委員会がデジタル庁に立ち入り検査を始めた。デジタル庁も所管は河野大臣で、隠蔽と馴れ合いに終わるのは見え透いてい

強引なカード用途の拡大

混乱、混同を来す原因は、マイナンバーカードの利用範囲を無制限に拡大しようとする政府の政策にある。本来マイナンバーの利用範囲は、社会保障、税、災害対策の3つに限られていた。ところが、政府は法律の規定に「準ずる事務」と規定し、いくらかも解釈を広げることが可能に

「準ずる事務」と規定し、いくらかも解釈を広げることが可能に

またマイナンバーカード取得は本来任意であるものを義務であるかのように説明して

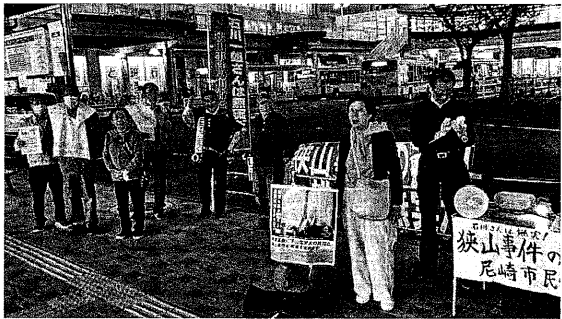
「なりすまし」「ハッキング」「マルウェア」などの被害が

またマイナンバーカード取得は本来任意であるものを義務であるかのように説明して

またマイナンバーカード取得は本来任意であるものを義務であるかのように説明して

10・31狭山闘争、11月三者協議へのぼり新調し、狭山署名

10月23日 兵庫



街宣行動追えて全員で写真 (10月23日 尼崎市内)

10月31日の狭山中央頭宣伝がおこなわれてくれる人や、カンパ闘争を前に、10月23日た。12月の大野裁判長を寄せてくれる人も出に尼崎市内で署名・街の退官を前に、「動か

(8面からの続き)

2013年3月、原

原発建設とセツト

今から41年前の

